

高齢者

ボランティア活動者比率
富山県 2位

学力

石川県 2位 福井県 3位 富山県 4位

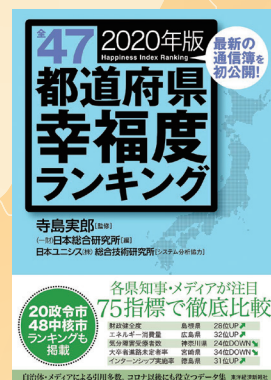
はたらく
くらす
まなぶ
たのしむ

インターンシップ

実施率
1位 福井県
2位 富山県

子どもの運動能力

福井県 1位



道路整備率

1位 富山県

「日本一の幸福度」北陸。

女性の労働力人口比率

1位 福井県

児童待機率(低さ)

1位 富山県
石川県

今回も選ばれました!

「全47都道府県幸福度ランキング2020年版」にて
幸福度No.1に選ばれた北陸。
その知られざる魅力に迫る!



〒920-0981
金沢市片町2丁目2番15号 Tel 076-232-0472 (代表)
<http://www.hokkeiren.gr.jp/>



〒930-8686
富山市牛島15番1号 Tel 076-441-2511 (代表)
<http://www.rikuden.co.jp/>





今回も、トップ3(現行指標) に「北陸3県」が 選ばれました!

総合ランキング	
1位	福井県
2位	富山県
3位	東京都
4位	石川県
5位	長野県

北陸3県すべてが
上位にランクイン!

現行指標・ランキング	
1位	福井県
2位	富山県
3位	石川県

*5分野において現状における経済
や社会の安定度を示す20指標

「安定した日常」
を維持

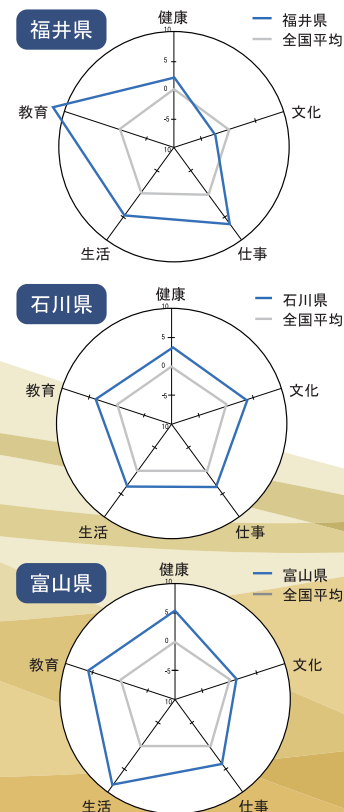
都道府県幸福度ランキングとは

国勢調査等をベースに、人口増加率、所得などの
基本指標と、健康、文化、仕事、生活、教育の
分野ごとの指標等全75の指標で47都道府県を
分析。地域づくりに欠かせない基本的な視座を
提供する。



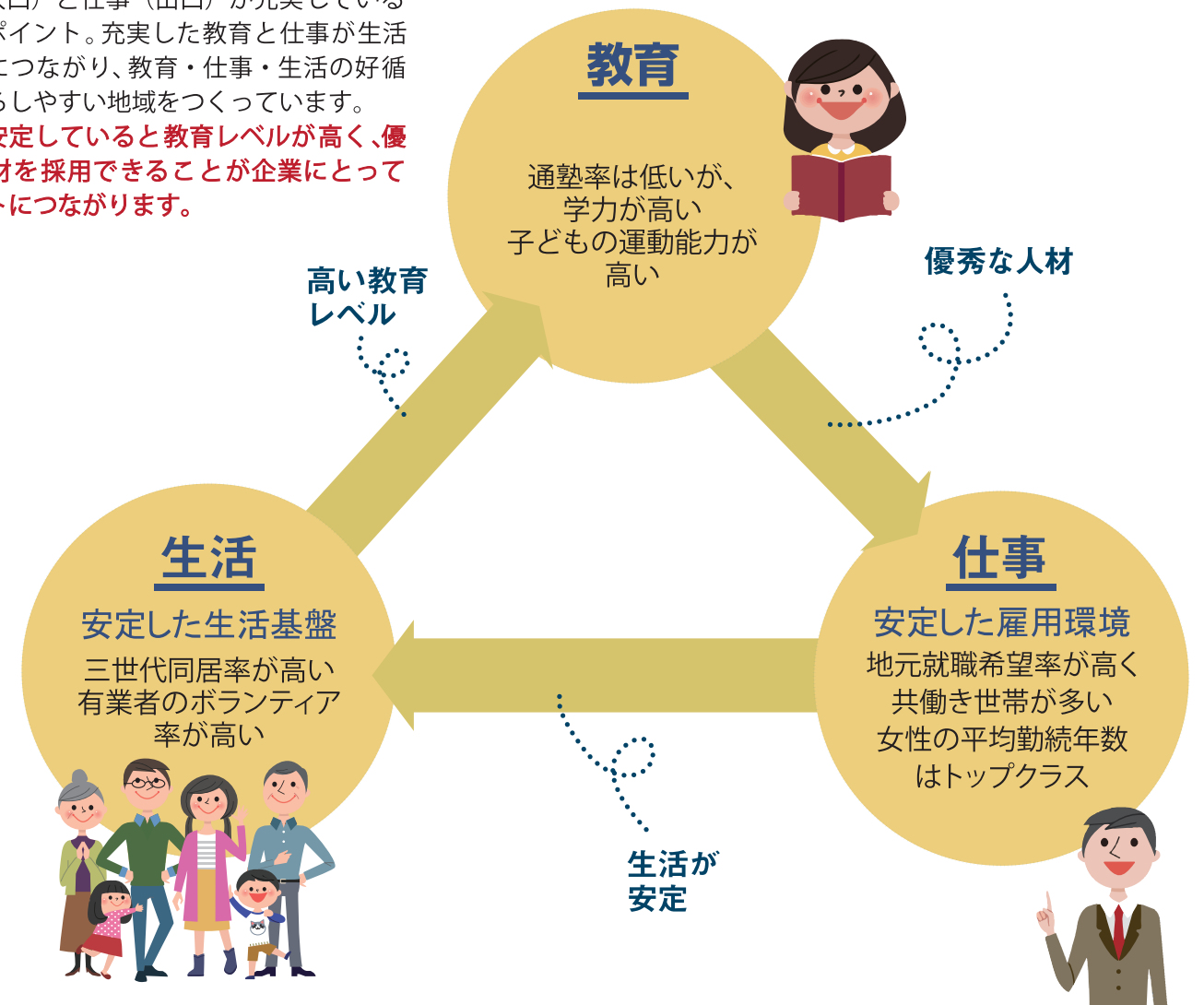
北陸3県の レーダーチャート〔点数〕

分野別 / 総合 (正規化指数で表示)



なぜ、北陸は幸福度が高い!? それは「教育」「仕事」「生活」の好循環がもたらす暮らしやすさ。

教育（入口）と仕事（出口）が充実している
ことがポイント。充実した教育と仕事が生活
の安定につながり、教育・仕事・生活の好循
環が暮らしやすい地域をつくっています。
生活が安定していると教育レベルが高く、優
秀な人材を採用できることが企業にとって
メリットにつながります。

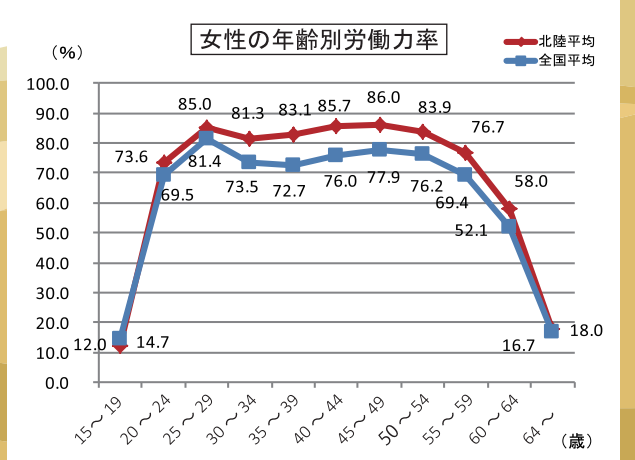


北陸の女性は 働く意欲が高い。

北陸3県の女性の労働力人口比率はトップクラス
です。働く女性が多い地域といえます。女性の年
齢別労働力率は、いわゆるM字カーブ(25～39歳
の年齢層で労働力率が低下する現象)の形状とな
りますが、結婚、出産、子育て期に就業を中断
する女性が多いためです。北陸3県の女性は全
国に比べてM字のくぼみが小さく、全国で最も
低くなる35～39歳での北陸3県の女性の労働力
率は全国平均を大きく上回っています。北陸は
三世代同居率が高く、子育て期に家族の支援が
得られやすく、中断せず就業する環境があると
考えられます。

女性の労働力人口比率

1位 [福井県] 3位 [石川県] 8位 [富山県]



資料/総務省「平成27年国勢調査」

5つの世代で「幸せをつかむ」北陸。

これからの「異次元の高齢化社会」に向かって生きるために、各世代で大切なことは何でしょう。5つのライフステージごとに10指標（シルバー（リタイヤ）は5指標）の合計点でランキング。北陸3県はここでも上位にランキングされました。

青少年（就学～20代）1位 [福井県]

学力
石川県2位 福井県3位 富山県4位

子どもの運動能力
福井県1位 石川県6位 富山県12位

インターンシップ実施率
福井県1位 富山県2位 石川県12位

（60代以降）シルバー（リタイヤ）3位 [石川県]

一人暮らし高齢者率（低さ）
福井県3位 富山県4位 石川県17位

市民農園面積
石川県3位 福井県14位 富山県29位



子育て世代（30代～40代）1位 [福井県]

待機児童率
富山県1位 石川県1位 福井県9位
教養・娯楽（サービス）支出額
石川県4位 富山県6位 福井県24位

中堅社会人（40代～50代）2位 [富山県]

正規雇用者比率
富山県2位 福井県3位 石川県10位
勤労者世帯可処分所得
石川県3位 福井県7位 富山県12位

（60代以降）シルバー（現役）1位 [福井県]

社会教育費（人口あたり）
福井県2位 石川県10位 富山県13位
高齢者有業率
福井県5位 石川県10位 富山県14位

北陸は女性が働きやすい地域。

待機児童数ゼロ！
子育ても仕事も
両立できる環境が充実。



北陸地方の女性は平均勤続年数が高いのが特徴です。また育児と仕事を両立している女性の比率も高いのです。その理由には、保育所、祖父母のサポートがあるから。北陸は働く女性の多い地域です。

一般世帯における共働き世帯率 1位 [福井県]

資料 / 厚生労働省「平成27年国勢調査」

待機児童率（低さ） 1位 [石川県] 1位 [富山県]

女性の平均勤続年数 2位 [石川県]

資料 / 厚生労働省「令和元年賃金構造基本統計調査」

住みよさはトップクラス。充実した暮らしやすい社会環境。

家族を大事にする北陸。
広い家でゆったりと、
毎日を送っています。

道路整備率 1位 [富山県]

持ち家比率 2位 [富山県]

勤労者世帯可処分所得 3位 [石川県]

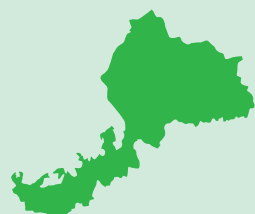


北陸3県の紹介

福井県

人材育成から雇用までの
環境が一貫して充実している

仕事分野と教育分野が1位、生活分野の個人（家族）領域で2位であったことが総合順位1位に大きく貢献。特に教育と雇用が両輪で安定していることが、県としての総合力の高さにつながっていると考えられます。インターンシップ実施率が高く、社会に出る前の時期で行う経験から、雇用まで充実した環境が整っていると考えられます。



幸福度ランキング上位指標	順位
子どもの運動能力	1位
余裕教室活利用率	1位
女性の労働力人口比率	1位
不登校児童生徒率（低さ）	1位
大卒者進路未定者率（低さ）	1位
インターンシップ実施率	1位
社会教育費	2位
学力	3位
生活保護受給率（低さ）	3位
正規雇用者比率	3位
一人暮らし高齢者率（低さ）	3位
平均寿命	3位

「全47都道府県幸福度ランキング2020年版」より

北陸3県の紹介

石川県

女性が働きやすい環境が
整っている

学力の高さや子どもの運動能力の高さなど、子育てに最適な県の一つといえます。また、女性の労働力人口比率が高く、待機児童率が低いところから女性が子育てしながら働きやすい環境が整っているといえます。また、積極的に文化に親しむライフスタイルが定着しています。



幸福度ランキング上位指標	順位
常設映画館数	1位
待機児童率（低さ）	1位
余裕教室活利用率	1位
学力	2位
自殺死亡者数（少なさ）	2位
道路整備率	3位
女性の労働力人口比率	3位
勤労者世帯可処分所得	3位
市民農園面積	3位
教養・娯楽（サービス）支出額	4位
若者完全失業率（低さ）	5位
生活保護受給率（低さ）	5位

「全47都道府県幸福度ランキング2020年版」より

北陸は教育県。子どもも大人も学びに積極的。教育に高いレベルで取り組んでいます。

福井県が教育分野ランキングで2012年から5回連続で1位を獲得。2位には富山県、3位には石川県と、北陸3県は上位を占めました。中でも福井県は学校領域で5回連続、社会領域で4回連続の1位で教育分野において心身ともに健全な子どもたちが育ち、社会に出てからも学びの場が充実した日本一の教育県といえます。

学力

2位 [石川県] 3位 [福井県] 4位 [富山県]

社会教育学級・講座数 (人口あたり)

2位 [富山県] 4位 [福井県]

インターンシップ実施率

1位 [福井県] 2位 [富山県] 12位 [石川県]

100年人生。遊びも様々。どんな世代でも楽しめます。

10 年先、20 年先も「幸せな人」になるためのキーワードのひとつが「心のゆとり」です。社会とのつながりはもちろん、趣味や生きがいを北陸でみつけることができます。

常設映画館数

(人口あたり)

1位 [石川県]

スキー・スノボ大好きランキング

2位 [富山県] 9位 [石川県]

ボウリングが人気

4位 [石川県] 6位 [富山県]

観光旅行行動者率

4位 [富山県]



北陸3県の紹介

富山県



2位
総合
ランキング

2位
現行指標
ランキング

安定した雇用が高い所得水準と経済的な自立を支える

生活分野が常に1位であり、暮らしやすい生活基盤・社会環境が整っています。この分野の個人(家族) 領域は1位であり、家族どうしのつながりや支え合いに対する意識が高いといえます。また、正規雇用者比率や、インターンシップ実施率も高く、雇用環境の充実も社会の安定に寄与しています。

幸福度ランキング上位指標	順位
生活保護受給率(低さ)	1位
待機児童率(低さ)	1位
道路整備率	1位
語学教室にける金額	1位
総合型地域スポーツクラブ育成率	1位
余裕教室活用率	1位
インターンシップ実施率	2位
高齢者ボランティア活動者比率	2位
正規雇用者比率	2位
持ち家比率	2位
大卒者進路未定者率(低さ)	2位
社会教育学級・講座数	2位

「全47都道府県幸福度ランキング2020年版」より

北陸への交通アクセス 三大都市から、空路・陸路がさらに充実。



北陸新幹線(所要時間)

●東京→富山間(最速) 2時間 8分 ●東京→金沢間(最速) 2時間28分

国内外空路行先(羽田→北陸各空港 約1時間)

●富山きときと空港 羽田・札幌／ソウル・大連・上海・台北
●小松空港 羽田・札幌・福岡・那覇／ソウル・上海・台北
●のと里山空港 羽田

※各空港より国内外チャーター便あり

2021年1月現在

協力

一般財団法人日本総合研究所、日本ユニシス株式会社 総合技術研究所

参考文献

「全47都道府県幸福度ランキング2020年版」、文部科学省「令和元年度全国学力・学習状況調査」、総務省「平成27年度国勢調査」、厚生労働省「平成30年度被保護者調査」、国土交通省「平成30年度道路統計年報」、総務省「令和元年度家計調査」、文部科学省「令和元年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査(実技に関する調査)」、文部科学省・国立教育政策研究所「平成29年度職場体験・インターンシップ実施状況等調査結果」、文部科学省「令和元年度学校基本調査」、厚生労働省「保育所等関連状況取りまとめ(平成31年4月1日)」、文部科学省「平成28年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸問題に関する調査」、厚生労働省「平成30年人口動態調査」、文部科学省「平成29年度地方教育費調査」、厚生労働省「平成29年度特定健康診査・特定保健指導・メタボリックシンドロームの状況」、総務省「平成28年度社会生活基本調査」、文部科学省「平成30年度社会教育調査」、厚生労働省「平成30年度賃金構造基本統計調査」、農林水産省「平成27年度農林水産省統計表」、一般社団法人日本映画製作者連盟「令和元年日本映画産業統計」、総務省「平成31年度 消防白書」、法務省「2019年出入国管理統計」、総務省「2019年人口推計」、国土交通省「平成30年度都市公園データベース」、厚生労働省「平成28年度国民生活基礎調査」、厚生労働省「平成30年度福祉行政報告例」、スポーツ庁「総合型地域スポーツクラブ育成状況調査」